別記様式第八（甲）

許 可 申 請 書		番	号
		令和	年 月 日
国土交通省関東地方整備局長 様			
申請者 住 所			
ふりがな 氏 名			
別紙のとおり、河川法第27条第1項の許可を申請します。			

〔記載要領〕

1. 申請年月日

申請書を提出するときの年月日を記載すること。申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記すること。

2. 申請者

- ① 住所 公共団体又は法人等についても「字〇〇番地」まで記載すること。
- ② 氏名 (イ) 公共団体又は法人等である場合は、その公共団体又は法人の名称及び代表者氏名を記載すること。
(ロ) 共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記するのが原則であるが、「〇〇〇〇外〇〇名」、「代表者〇〇〇〇」と記載してもよい。この場合には、すべての共同申請者の住所及び氏名を記載した書面を添付するとともに委任状も添付すること。
(ハ) 法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付すること。

3. その他

- ① 規則第39条（許可の同時申請）の規定により許可の申請を同時に行うときには、「第〇条」の箇所に根拠条文をすべて記載すること。
- ② 法第95条の規定による国の特例の場合についても様式甲を準用する。
この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は、「別紙のとおり河川法第〇条の許可について同法第95条の規定により協議します」と記載すること。

(乙の5)

(土地の形状変更、竹木の栽植、竹木の伐採)

1. 河川の名称
2. 行為の目的
3. 行為の場所及び行為に係る土地の面積
4. 行為の内容
5. 行為の方法
6. 行為の期間

[記載要領]

1. 「(土地の形状の変更、竹木の栽植、竹木の伐採)」の箇所には、該当するものに○印を記載すること。
2. 河川の名称
水系名、河川名、左右岸の別を明記すること。
3. 行為の目的
「排水路の開削のため」等具体的に記入すること。
4. 行為の場所
「字○○番地先」まで明記すること。
5. 行為に係る土地の面積
単位については平方メートルとし少数第2位まで丈量計算し、小数点以下は切り上げて整数とする。
6. 行為の内容
 - ① 土地の形状を変更する行為にあつては、掘削、盛土、切土等行為の種類及び掘削又は切土の深さ、盛土の高さ、土量等を記載すること。
 - ② 竹木の栽植又は伐採にあつては、竹木の種類及び数量を記載すること。
7. 行為の方法
 - ① 機械を使用して土地の形状を変更する場合にあつては、その機械の種類、能力及び台数を記載すること。
 - ② 申請に係る行為に関して土石等の搬出を伴う場合にあつては、搬出又は搬入の方法及びその経路を付記すること。
8. 変更許可申請
変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で付記すること。